



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月22日

上場会社名 株式会社 スーパーツール  
 コード番号 5990 URL <http://www.supertool.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 量夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部次長 (氏名) 田中 穰

TEL 072-236-5521

四半期報告書提出予定日 平成30年1月29日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年3月16日～平成29年12月15日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	5,349	15.4	588	6.3	519	8.2	341	10.2
29年3月期第3四半期	6,320	23.5	628	10.3	566	10.9	380	9.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 382百万円 ( 22.3%) 29年3月期第3四半期 492百万円 ( 10.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	32.86	
29年3月期第3四半期	36.60	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	11,528	8,394	72.8
29年3月期	12,038	8,199	68.1

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 8,394百万円 29年3月期 8,199百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		9.00		9.00	18.00
30年3月期		9.00			
30年3月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年3月16日～平成30年3月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	17.1	900	14.3	800	13.9	540	16.4	51.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) - 、 除外 社 (社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	10,405,480 株	29年3月期	10,405,480 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	10,750 株	29年3月期	9,719 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	10,394,984 株	29年3月期3Q	10,396,725 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、良好な雇用環境や、個人消費にも持ち直しがみられるなか、企業の生産活動においても堅調に推移し、緩やかな景気回復基調が続きました。一方、欧州政治の混乱や、一部の地域での地政学的リスクが不安材料としてあるものの、政策転換による製造業の業況や雇用情勢の改善などにより堅調な米国経済や、新興国の経済成長などを背景に、海外経済は拡大基調が続きました。

このような環境のなか、当社グループでは、金属製品事業について、高付加価値製品の開発、取引先向けの研修会や多彩な販売企画の実施などの積極的な営業活動に取組むとともに、組織改革による最適な事業体制や省人・省力化などの生産効率向上の諸施策を推進し、収益の安定化に取り組んでまいりました。また、さらなる顧客サービスの充実を図るべく、メンテナンス体制の強化や製販一体体制の深化に取り組んでまいりました。

一方、環境関連事業につきましては、再生可能エネルギーの制度改正後、国内市場において、縮小傾向が続くなか、設置コストや運用面で条件に恵まれた案件に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,349百万円（前年同四半期比971百万円減、15.4%減）、営業利益は588百万円（前年同四半期比39百万円減、6.3%減）、経常利益は519百万円（前年同四半期比46百万円減、8.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は341百万円（前年同四半期比38百万円減、10.2%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況は次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

## (金属製品事業)

作業工具は、国内販売では、高度経済成長期に整備された老朽インフラの更新などに伴う需要が高まるなか、リニューアルした展示場での実演や製品のプロモーション活動などにより販路の拡大を促進し、設備投資に伴う関連製品が堅調に推移しました。

産業機器では、市場ニーズを的確に捉えた販売企画により、安全性と作業性を兼ね備えた吊クランプが順調に進捗し、荷役作業において機動性に優れたジブクレーンが好調に推移いたしました。海外市場では、きめ細かな営業活動により販路の拡大に努め、回復傾向の見られるアジア新興国や当社の主要市場である韓国では堅調に推移いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は4,044百万円（前年同四半期比229百万円増、6.0%増）、セグメント利益は843百万円（前年同四半期比61百万円増、7.9%増）となりました。

## (環境関連事業)

制度改正の影響を受け、事業を取り巻く環境は、厳しい状況に置かれるなか、海外大手メーカーとの取引を開始することによりパワーコンディショナーなどの太陽光関連部材の品揃え充実や、水上設置型太陽光発電などのニーズに応じた設計、施工提案を行いながら、企画営業部門と施工部門が緊密に連携し、より筋肉質な事業体制への取り組みに注力してまいりました。また、売電部門では、大阪府河内町及び柏原市に設置した3カ所の発電所が順調に稼働しており、収益の安定化に寄与しております。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,304百万円（前年同四半期比1,200百万円減、47.9%減）、セグメント利益は54百万円（前年同四半期比75百万円減、57.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ510百万円(4.2%)減少し、11,528百万円となりました。

主な増減は、現金及び預金の減少272百万円、仕掛品の減少206百万円、商品及び製品の減少164百万円、機械装置及び運搬具の減少28百万円、受取手形及び売掛金の増加93百万円、投資有価証券の増加79百万円、原材料及び貯蔵品の増加39百万円等であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ705百万円(18.4%)減少し、3,134百万円となりました。

主な増減は、未払法人税等の減少188百万円、長期借入金の減少183百万円、支払手形及び買掛金の減少102百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少62百万円、賞与引当金の減少40百万円等であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ194百万円(2.4%)増加し、8,394百万円となりました。

主な増減は、その他有価証券評価差額金の増加53百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加341百万円、配当金の支払いによる減少187百万円、繰延ヘッジ損益の減少12百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年4月25日付「平成29年3月期決算短信[日本基準](連結)」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月15日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,585,315	2,312,846
受取手形及び売掛金	917,999	1,011,016
商品及び製品	1,286,760	1,121,869
仕掛品	848,897	642,839
原材料及び貯蔵品	219,074	258,335
前渡金	8,040	7,314
繰延税金資産	27,416	21,396
その他	47,444	23,467
流動資産合計	5,940,948	5,399,084
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	555,682	531,538
機械装置及び運搬具(純額)	970,859	941,921
土地	4,088,246	4,088,246
その他(純額)	33,132	46,327
有形固定資産合計	5,647,921	5,608,033
無形固定資産	11,863	10,781
投資その他の資産		
投資有価証券	368,799	448,445
繰延税金資産	16,827	15,959
その他	52,565	46,141
投資その他の資産合計	438,192	510,546
固定資産合計	6,097,977	6,129,361
資産合計	12,038,926	11,528,446

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月15日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月15日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	634,826	532,237
1年内返済予定の長期借入金	314,112	251,916
未払金	237,986	278,501
未払法人税等	203,361	14,769
賞与引当金	55,169	14,636
その他	156,118	40,161
流動負債合計	1,601,574	1,132,221
固定負債		
長期借入金	833,041	650,027
再評価に係る繰延税金負債	1,022,632	1,022,632
繰延税金負債	165,982	152,060
退職給付に係る負債	165,963	177,319
その他	50,529	—
固定負債合計	2,238,149	2,002,039
負債合計	3,839,724	3,134,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,898,643	1,898,643
資本剰余金	836,249	836,249
利益剰余金	2,998,881	3,153,319
自己株式	△2,742	△3,190
株主資本合計	5,731,032	5,885,021
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140,431	193,527
繰延ヘッジ損益	10,638	△1,463
土地再評価差額金	2,317,100	2,317,100
その他の包括利益累計額合計	2,468,170	2,509,164
純資産合計	8,199,202	8,394,185
負債純資産合計	12,038,926	11,528,446

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月16日 至平成28年12月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月16日 至平成29年12月15日)
売上高	6,320,610	5,349,449
売上原価	4,642,157	3,729,926
売上総利益	1,678,453	1,619,523
販売費及び一般管理費	1,049,940	1,030,875
営業利益	628,512	588,647
営業外収益		
受取利息	90	109
受取配当金	6,003	5,810
為替差益	2,151	4,321
投資事業組合運用益	2,224	—
その他	3,636	1,999
営業外収益合計	14,107	12,241
営業外費用		
支払利息	6,790	5,387
売上割引	69,684	75,795
その他	27	72
営業外費用合計	76,502	81,255
経常利益	566,117	519,633
特別利益		
固定資産売却益	452	65
特別利益合計	452	65
特別損失		
固定資産除売却損	—	12,931
役員退職功労金	—	35,000
特別損失合計	—	47,931
税金等調整前四半期純利益	566,570	471,768
法人税、住民税及び事業税	217,035	144,779
法人税等調整額	△30,985	△14,562
法人税等合計	186,050	130,216
四半期純利益	380,519	341,551
親会社株主に帰属する四半期純利益	380,519	341,551



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年3月16日 至 平成28年12月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月16日 至 平成29年12月15日)
四半期純利益	380,519	341,551
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,317	53,096
繰延ヘッジ損益	36,855	△12,102
土地再評価差額金	54,771	—
その他の包括利益合計	111,944	40,993
四半期包括利益	492,464	382,545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	492,464	382,545
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年3月16日 至平成28年12月15日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属製品 事業	環境関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,815,582	2,505,028	6,320,610	—	6,320,610
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,815,582	2,505,028	6,320,610	—	6,320,610
セグメント利益	781,280	130,026	911,306	△282,794	628,512

(注) 1 セグメント利益の調整額△282,794千円には、セグメント間取引消去4,939千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△287,733千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年3月16日 至平成29年12月15日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属製品 事業	環境関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,044,625	1,304,823	5,349,449	—	5,349,449
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,044,625	1,304,823	5,349,449	—	5,349,449
セグメント利益	843,016	54,776	897,793	△309,145	588,647

(注) 1 セグメント利益の調整額△309,145千円には、セグメント間取引消去4,341千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△313,486千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。